

もりやまキャリアチャレンジ
成果報告ブックレット2020

Assemble! Challengers!

もりやま キャリアチャレンジ

CONTENTS

もりやまキャリアチャレンジとは	03
もりやまキャリアチャレンジ活動報告	04
「起業家の集まるまち守山」に向けて	06
もりやまキャリアチャレンジ活動分析	08
もりやまキャリアミーティング・プログラムの価値分析	10
「起業家の集まるまち守山」ロゴ・キャッチコピーについて	11

もりやまキャリアチャレンジとは

滋賀県守山市の中・高・大学生を対象とした起業家育成プログラム「もりやまキャリアチャレンジ」は、守山市が総合計画における地方創生の取り組みの一貫として「起業家の集まるまち守山」をキーワードに実施しているプログラムです。

守山市でのフィールドワークを経て地域の魅力・問題発見を行い、ビジネスプランを作り、ピッチイベントで成果発表を行います。2020年度は、守山市の将来を支える若い世代の起業家教育推進事業として実施し、大学生・社会人による丁寧なフォローアップを受けながら、「起業家の集まるまち守山」を実感し、若い世代に起業をキャリアの1つとして考えるきっかけを提供しています。

プログラム内容



Fieldwork

フィールドワーク

チームで守山市をフィールドに地域の課題や魅力を再発見。大学生メンターによるフォローを受けながら、テーマに応じて守山市内での視察やインタビューを行います。



Career-Seminar

キャリアゼミ

起業やビジネスをテーマにした「キャリアゼミ」をオンラインで実施。地域や社会で活躍する方の話を聞き、アイデアをブラッシュアップしていきます。



Biwako-Pitch

びわ湖ピッチ

ビジネスプランを、社会で活躍する起業家・投資家・専門家にショートプレゼンする「ピッチ」を行います。フィードバックを受けて、これからのキャリアを考えるきっかけにします。

実施概要

活動期間

2020年12月～2021年1月 *必要に応じて継続支援

参加者

守山市内在住/守山市に通学する高校生 18名

主催

一般社団法人SDGs Impact Laboratory

共催

守山市

協力

立命館大学EDGE+Rプログラム
滋賀SDGs×イノベーションハブ
立命館大学Sustainable Week実行委員会

もりやまキャリアチャレンジ
特設サイト

impactlab.jp/moriyama-cc



もりやまキャリアチャレンジ活動報告

12.6
SUN

Orientation

オリエンテーション

初めての顔合わせとなるオリエンテーションでは、7チームの高校生が、守山市のコワーキングスペースFuture Labに集いました。高校生の活動をサポートする5名の大学生メンターや守山市長にお越しいただき、高校生とサポーター全員が自己紹介を行いました。プレゼンテーションのモデルとして、これまでビジネスピッチの経験がある大学生メンター2名がデモンストレーションを行いました。



12.12
SAT

Career-Seminar #1

キャリアゼミ #1

第1回目キャリアゼミは、滋賀大学経済学部准教授・Startup Weekend Moriyamaオーガナイザーの山下悠さんが講師を担当されました。「もりやまキャリアチャレンジで何を学べるか?」をテーマに、デザインシンキングのレクチャーや高校生のアイデアのブラッシュアップを行いました。



12.27
SAT

Interim Presentation

中間報告会

Future Labで実施した中間報告会では、各チームが5分間のピッチを行い、山下先生や大学生メンター、守山市関係者の方々から講評やコメントをいただきました。キャリアゼミやメンターのサポートを受けてブラッシュアップしたプランを発表。講評やコメントを受け、びわ湖ピッチに向けてプランに磨きをかけていきました。



1.10
SUN

Career-Seminar #2

キャリアゼミ #2

第2回目のキャリアゼミでは、株式会社マイネット代表取締役の上原仁さんが講師を担当されました。守山市出身の起業家で、同社を東証一部上場企業まで成長させた経験を持つ上原さんから、びわ湖ピッチの審査項目にもある市場性・持続可能性の部分を中心にビジネスの必要性についてわかりやすく説明していただきました。また、起業家の目線からびわ湖ピッチ前の最後のアドバイスを頂きました。



ダイジェスト映像を観る
youtu.be/Bze6p_DPpec



活動報告noteを読む
bit.ly/3llJwl3



びわ湖ピッチ実施報告



2021.1.24 @ セトレマリーナびわ湖

もりやまキャリアチャレンジを経た成果報告会として、ビジネスプランを社会で活躍する起業家・投資家・専門家にショートプレゼンする「びわ湖ピッチ」を実施しました。

高校生7チームは、守山市でのフィールドワークを経て地域の魅力・問題発見を行い、試行錯誤をしながらビジネスプランを作り、びわ湖ピッチ当日を迎えました。

- 主催 守山市
- 後援 滋賀県/守山商工会議所
- 協賛 日本コカ・コーラ株式会社
旭化成株式会社
株式会社平和堂
株式会社earth kiss
- 協力 立命館大学EDGE+Rプログラム
滋賀SDGs×イノベーションハブ
- 会場協力 セトレマリーナびわ湖
- 企画運営 一般社団法人SDGs Impact Laboratory

実施報告noteを読む
bit.ly/30MEF2V



記録映像を観る
youtu.be/S2PrDD8LQc



ショートダイジェスト
映像を観る
youtu.be/cDuYHeVQI7Y



びわ湖ピッチでは、起業家・投資家・専門家の皆様による審査を行い、優れたピッチを行ったと評価されたチームには表彰を行いました。最も優れたピッチを行ったと評価されたチームには守山市より「最優秀賞」、および企業協賛により「コカ・コーラ賞」「旭化成賞」「平和堂賞」の計4つの賞が贈られました。



最優秀賞

WORLD
「WORLD」

同じ空間にいる相手の情報を共有でき
挑戦する人々を支えるSNS



コカ・コーラ賞

エンバイオメンタるブリキュア
「エコローカル」

ゴミ分別の意識を変える
小中学生向け環境教育プロジェクト



平和堂賞

もりキム
「食べようヤジカブプロジェクト」

守山の伝統野菜「矢島かぶら」の
商品開発・販売プロジェクト

Assemble! Challengers!

チャレンジャー《挑戦者》とは、
失敗を恐れず、何度でも立ち上がる者たちだ。

本気の挑戦、本物の失敗、
正解のないアクション。
あくなき挑戦で、人間は進化する。

このまちには、チャレンジできるフィールドがある。
このまちから、世界に風を巻き起こせ。

さあ、進化を楽しもう。



起業家の
集まるまち
守山

起業家の集まるまち守山に向けて

「起業家の集まるまち守山」は、守山市地方創生プランとして掲げる「第2期・守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で実現を目指す、守山市の将来像です。「若者の活躍（しごと・地域活動）や希望（子育て）がかなうまち」として、地域の「しごと」をつくることで、「ひと」が集まり、集まった「ひと」が守山の「まち」をつくります。

起業家の集まるまち 守山

「挑戦」を応援し、「失敗」をフォローする機運と文化の醸成、
起業家の支援体制をまち全体でつくるという「持続可能なエコシステムの形成」

1

民間主導の取り組みを
積極的に支援し
起業機運を高める

2

地域をあげた
ワンストップ
支援体制の確立

3

将来を支える
若い世代の育成と
社会の理解を深める

若い世代の起業マインド育成

今回実施した「もりやまキャリアチャレンジ」は、守山市の将来を支える若い世代の起業家育成プログラムとして実施しました。守山市を舞台として地域の魅力や課題の発見の機会を作り、課題解決に向けたビジネスプラン創出・発表を通して、守山市への愛着や誇りを醸成。また、将来のキャリアの1つとしての「起業」を実感してもらい、守山市の将来を支える若い世代の育成につなげ、地域社会でのイノベーション創出を目指しました。



ステークホルダーの声



株式会社マイネット 代表取締役
上原 仁さん

もりやまキャリアチャレンジの講師、そしてびわ湖ピッチの審査員を務めました。 「起業家の集まるまち守山」というテーマに合致する、素晴らしい取り組みでした。高校生たちの提案したビジネスプランは、どれも地域社会の未来を考えられたもので、ぜひ守山市の将来を支える人材へと育ててほしいと思いました。私も守山市で育ち、起業しました。オンライン時代となった現代社会において、新たな時代の価値を創るのは、若い世代の皆さんです。世界をもっとよりよくするために、若い世代の皆さんには、ぜひ果敢に、熱意を持って挑戦してほしいと思っています。そして守山市の目指す起業家の集まるまちに向けて、私も一緒に挑戦したいと思います。

びわ湖ピッチで高校生の皆さんのビジネスプランを聞き、若い世代の皆さんが「自分たちの世代に風穴を開けたい」「抱えている課題をみんなのために解決したい」という強い思いを持っていると感じました。私は守山市でコワーキングスペースを運営していますが、高校生の皆さんの想いは、私が接している起業家の方々にも負けていません。守山が本気で何かを目指す人にとって、あってよかったと思われる場所になればと思いますし、がむしゃらに挑戦できる場所であってほしいと思います。私もコワーキングスペースの運営を通して、そんな環境を整えていきたいと思っています。



株式会社い と 代表取締役
山崎 いずみさん



滋賀県 商工観光労働部長
森中 高史さん

「起業家の集まるまち守山」をつくることを目指し、守山市では行政だけでなく民間の力も加わり、実現に向けて起業支援を熱心に取り組まれています。今回実施されたもりやまキャリアチャレンジ・びわ湖ピッチは、若い世代のチャレンジを応援する、素晴らしい取り組みでした。新しいことにチャレンジする皆さんには、ぜひ熱意を持って、周りに共感してもらい、周囲や地域社会を巻き込んで、どんどん挑戦してほしいと思っています。「起業家の集まるまち守山」をつくるため、しっかりと挑戦を支援する体制・環境を県としても守山市と一緒に作っていききたいと思います。

私は大学生メンターとして高校生のチャレンジに伴走してきましたが、ただ単に「守山市で高校生がピッチした」で終わらせるのではなく、実際に起業できるレベルに導くことを目標にサポートしてきました。メンターとしてのサポートをするにあたっては、高校生たちにとって話しやすい・相手をリスペクトし続けられる環境づくりを意識していました。あくまで「起業」は手段であって、根底にあるのは自身の興味関心や課題意識です。そこから課題解決のアイデアを実現するにあたって、挑戦できるフィールドはとても大切です。私自身も「若者」として、様々な挑戦をしていきたいと思っています。



大学生メンター/
立命館大学理工学部4回生
岸本 俊輝さん

もりやまキャリアチャレンジ活動分析

もりやまキャリアチャレンジは、起業をキャリアの1つとして考えてもらうことを目指し、自身の興味関心から課題解決のビジネスアイデアを作り上げるプログラムです。本プログラムに参加した高校生が、どのような効果を得られたか、どのような経験があったのか明らかにし、今回のようなプログラムを通じて効果的に活動を行う方法、傾向を明らかにするため、事前・事後のアンケートを実施しました。ここでは、アンケート結果をもとにした分析の一部をご紹介します。

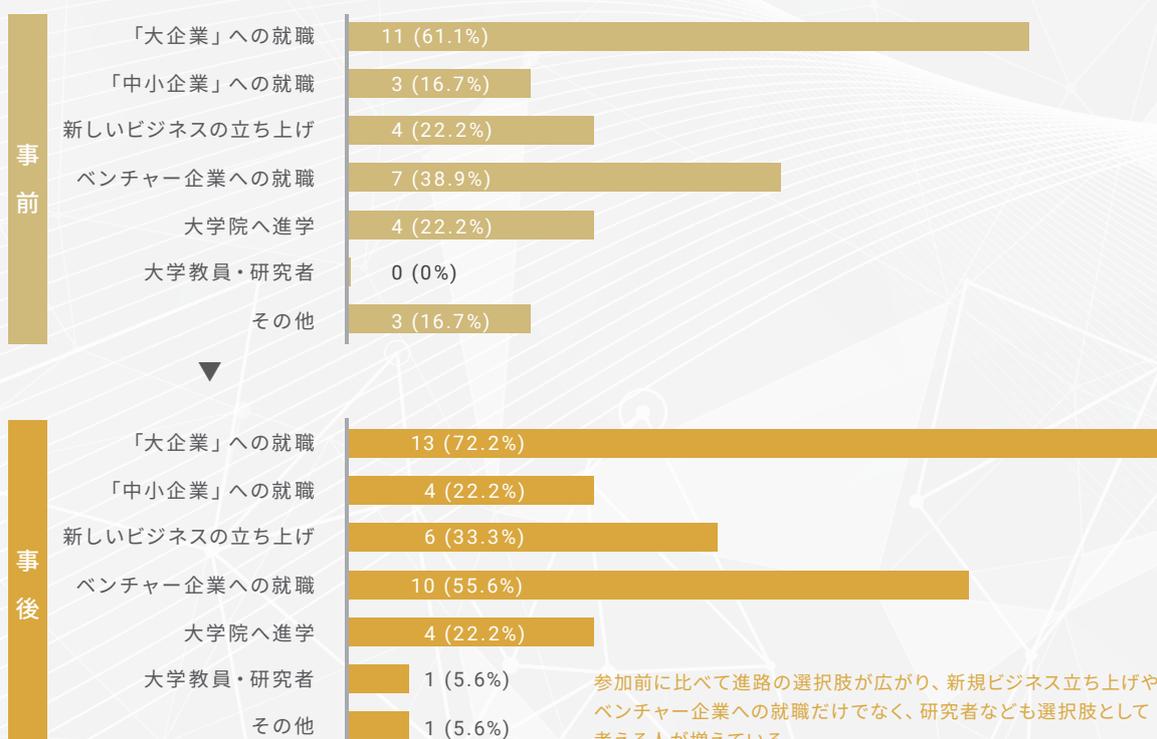


大学卒業後の進路

本プログラムに参加した高校生は、高校卒業後は大学に進学することを見据えていました。そこで、大学卒業後の進路について、プログラムの参加前後でどのように変化するか調査を行いました。その結果、プログラム参加前と比べ、参加者はプログラム参加後の進路の選択数が増えています。



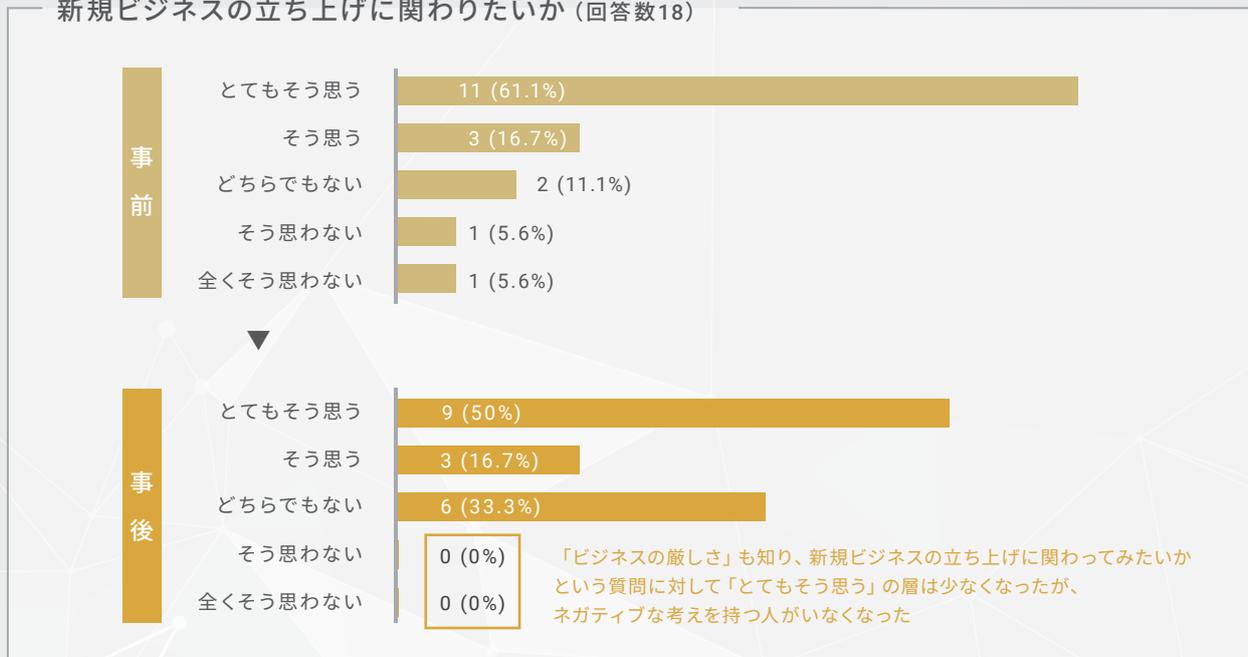
大学卒業後に検討している進路（複数回答可 | 回答数18）



新しいビジネスへの意識

本プログラムでは、社会や地域の課題を発見したあと、その課題をどのような製品・サービスで解決するかといった、ビジネスアイデアを検討しました。その検討方法について学ぶ機会があったため、新たにビジネスを立ち上げることについての具体的なイメージを参加者は持つことができたと考えられます。その結果、新規ビジネスの立ち上げに関わってみたいかという質問に対して、ネガティブな考えを持つ人がいなくなりました。

新規ビジネスの立ち上げに関わりたいか (回答数18)



プログラムを通じた成長

本プログラムを通して、参加者自身が考えるキャリアの視野は、参加前に比べて広がったことがわかりました。それは自分のやりたいことの実現のために、機会があれば企業内、大学で新規事業を興す、チームで起業するという考えができるようになったためと考えられます。

また、本プログラムは、守山市を舞台としていました。そのため、「守山市に愛着が湧いた」「守山市の課題を知り当事者意識を持って自身で解決する気持ちが生まれた」という参加者もいました。そのような参加者からは、「このプログラムを通して、まちづくり、地方創生に関するビジネスに興味を持ち始めた」という感想が得られたことも、成果の一つです。

そのほか、参加者がプログラムを通して得られたことは、「自ら様々な人に話を聞きに行き考える力」「コミュニケーション力」「大人との関わり方」などがあげられ、「ユーザーインタビューなどを通して、課題解決のための知見を広げるために必要なスキルが身についた」という回答が多くありました。また他の参加者のプレゼンから、「上手いプレゼンの仕方について学んだ」「実際に起業した人からの講演で、ビジネスや起業家なるために必要な考え方に関する考え方を学んだ」「ビジネスに対するマインドが身についた」という声もありました。

起業に関する考え方について多く学んだことから、今回のプログラムで検討していたビジネスプランについて、「今後も検討していく」と答えた参加者は83%でした。多くの参加者が、本プログラムを通して発見した社会課題について、自ら解決しようとする気持ちを持って今後も取り組んでいく意思があることがわかりました。

もりやまキャリアミーティング

もりやまキャリアチャレンジのプログラムを振り返り、「起業家の集まるまち守山」の今後をプログラム参加者である高校生の目線から考える機会として、2月20日に「もりやまキャリアミーティング」を開催しました。守山市がなぜ本事業に取り組むのか、経緯から共有することで地域を俯瞰し、プログラムの本質から大人だけでなく高校生たちにも考える機会をつくりました。また、実際にどんな学びや体験があり何を獲得できたのか、そしてどこを改善していくとより良いプログラムになるのか、参加した高校生たち自身でディスカッションしました。



プログラムの価値分析

もりやまキャリアミーティングでは、本プログラムを通じて学んだことや得られたこと、またより良くしていくためのアイデアなど、参加した高校生の視点から182の意見を抽出しました。それをもとに分析を行い、プログラムの参加の入口から修了の出口までの各段階において13の重要な提供価値があることが明らかになりました。この分析と、守山市や関係者からの意見をもとに、「起業家の集まるまち守山」のコンセプト・キャッチコピーを制作しました。

入口

参加動機

- ・自身の興味関心から目標設定
- ・キャリア形成に役立つ

ディスカッションをもとに分析した もりやまキャリアチャレンジの提供価値

若い世代への起業家教育の価値を参加者の声から質的調査（親和図法）を用いて分析しました
（分析：田口真太郎・吉武莞）

プログラムの提供価値

- ・努力が評価されるプログラム
- ・起業しなくてもためになる

正解のない本物の探求

- ・正解のない社会課題に挑む
- ・大人も一緒にトライする

起業とはなにか

- ・好きなことを仕事にする手段
- ・趣味「起業」になる時代

起業の可能性

- ・「起業」にリタイアはない
- ・興味関心を極められる

ビジネスの学び

- ・ビジネスの厳しさを学べる
- ・デジタルツールを活用できる

本物のプレゼンを学ぶ

- ・プレゼン力を「ピッチ」で磨く
- ・「問うチカラ」が養われる

大人も正解がわからない

- ・大人も一緒に正解を考える
- ・正解がないから失敗もない

プログラムの体験価値

- ・やりきったあとの達成感
- ・失敗しても「死なない」プログラム

多様な仲間づくり

- ・所属や場所を超えた仲間
- ・チームビルディングを学ぶ

本気のコミュニケーション

- ・大人と真剣に話し合える
- ・価値観を揺さぶられる出会い

プログラムを通じ獲得できるもの

- ・自分にしかできないことを知れる、創れる
- ・自分と地域にとって未来への投資になる

学生活動を企業が後押し

- ・学生の活動を企業が評価
- ・プロジェクトの終わりが次のスタート

出口

Assemble! Challengers!

チャレンジャー《挑戦者》とは、
失敗を恐れず、何度でも立ち上がる者たちだ。

本気の挑戦、本物の失敗、
正解のないアクション。
あくなき挑戦で、人間は進化する。

このまちには、チャレンジできるフィールドがある。
このまちから、世界に風を巻き起こせ。

さあ、進化を楽しもう。



起業家の
集まるまち
守山

「起業家の集まるまち守山」ロゴマークの制作について

「起業家の集まるまち守山」をイメージするロゴマークは、「渦」と「風車」の2つをかけ合わせ、起業家が集い渦の中心になる、という意味と、社会にインパクトある変化を生み出すまちになる、という意味を込めています。「紺碧」と「金色」の色は、日本の伝統色です。「紺碧（こんべき）」は、真夏の日差しの強い青空の色のような深く濃い青色で、守山の空や琵琶湖の碧さを表すとともに、制限なくどこまでも伸びることができる青天井を想起させます。「金色（こんじき）」は豊かさの象徴です。夢をかなえる一筋の光を目指す起業家の姿を表します。

タグラインは「Assemble! Challengers!」です。チャレンジャー《挑戦者》とは、失敗を恐れず、何度でも立ち上がる者を指します。守山市には、チャレンジができるフィールドがあります。タグラインと合わせたキャッチコピーは、日本・世界にインパクトのある変化を生み出す人が、守山に集ってほしいという想いを込めたメッセージとなっています。

2021.3 一般社団法人SDGs Impact Laboratory

もりやま
キャリアチャレンジ



もりやまキャリアチャレンジ成果報告ブックレット2020「Assemble! Challengers!」

2021年3月発行 発行 | 守山市

制作 | 一般社団法人SDGs Impact Laboratory

© Copyright 2021 守山市 / SDGs Impact Laboratory All rights reserved.